



兵庫教育大学 (兵庫県)



自然・文化・人が融和する大学で日本の心にふれることができます！

■ 大学紹介

(1) 大学の特色及び概要

兵庫教育大学は、主として現職教員の学校教育に関する高度の研究、研鑽の機会を確保する大学院修士課程、初等教育教員を養成する学部を有する教員養成大学として1978年10月に設置された大学です。

さらに、1995年4月には、わが国初の教員養成系博士課程として、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（博士課程）が設置されました。

在籍学生は、大学院、学部生あわせて1,600名であり、教員は、あらゆる分野の専門家を擁しています。

学習環境

雄大な播磨平野の一角に位置し、自然豊かな学習環境にあり、40万㎡の広大なキャンパスには、附属図書館、教育研究棟等が機能的に配置され、最新の教育研究設備・機器が整備されています。学生宿舎等も充実し、快適なキャンパスライフが送れるようになっています。

国際的な視野に立つ教員・事務スタッフも充実し、加東市との連携したフレンドシップファミリーのサポート体制も整えています。また、国籍の異なる学生も在籍することから、国際交流の機会も増え、幅広い学習が期待できるようになっています。



(2) 国際交流の実績 (2017.10.1現在)

大学間交流協定校：27大学

欧米地域：ヴァンダービルト大学ピーボディ教育学部、ウィスコンシン大学オークレア校、ロンドン大学、ハイデルベルグ教育大学、ルツェルン教育大学、ヘルシンキ大学、ユヴァスキュラ大学、リガ教員養成大学、プラハ大学教育学部

韓国：ソウル教育大学校、大邱教育大学校、京仁教育大学校、全州教育大学校

中国：華南師範大学、海南師範大学、湖南理工学院、浙江師範大学、寧波大学、東北師範大学

(台湾)：屏東大学、台中教育大学、台北教育大学
タイ：チュラロンコン大学、ピブンスンクラム地域総合大学

モンゴル：モンゴル国立教育大学

ベトナム：バリア・ブンタウ教員養成大学、ダナン大学

(3) 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2017年：留学生数 46人、日研生 2人

2016年：留学生数 65人、日研生 1人

2015年：留学生数 66人、日研生 5人

(4) 地域の特徴

加東市は豊かな風土に育まれ時代を越えて受け継がれてきた有形・無形の文化財が数多くあります。朝光寺（国宝）をはじめ、国史ゆかりの神社仏閣が多数あり、歴史探訪を誘ってくれます。また、加古川水系に見られる滝など自然に恵まれ、四季折々の変化が楽しめるフィールド散策等の体験学習もできます。秋祭りなど地域密着型の行事から、地域の方々ともふれあうことができ、日本人の心のふるさとを感じさせる伝統文化が学べます。



■ コースの概要

(1) 研修目的

日本事情・日本文化に関する研修を主とし、補助的に日本語能力の向上のための研修を行うもの。

(2) コースの特色

本コースは、半年間で日本の原風景に出会い、日本人の心に接することができる「日本の心探訪」コースと言えます。日本語をマスターし、日本文化に対する見識を高めるために各科目の講義、演習をはじめ、奈良、京都等の研修旅行などが用意されるほか、国際交流のための講演会、地域の文化財や季節にちなんだ行事（お花見会や夏祭り、秋祭り、お正月行事）にも参加できるプログラムとなっています。

(3) 受入定員

10名（大使館推薦4名、大学推薦6名）

(4) 受講希望者の資格、条件等

受講希望者は次の条件を満たすものとします。
・外国（日本国以外）の大学に在籍し、日本語・日本文化に関する教育を行う学部・学科に在学する者で、帰国時点でその大学に在籍している者（1年生を除く）。
・日本語能力試験N2相当の日本語能力を有する者。

(5) 達成目標

日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格）、実体験を通して日本文化を学びます。

(6) 研修期間

2018年10月1日 ～ 2019年9月30日
修了式は9月を予定（2017年は9月22日）

(7) 研修科目の概要

本コースは、日本語、日本文化実習・演習、日本文化講義及び特別研究の4つの授業科目からなります。

1) 日本語

日本語会話、日本語読解、日本語学、日本語教育などに関する実習あるいは演習科目

2) 日本文化実習・演習

日本の生活と言語, 衣食住, 生活と自然, 生活と美術, 生活と音楽に関する実習
あるいは演習科目

3) 日本文化講義

日本事情, 日本の文学, 歴史と社会, 自然, 生活文化に関する講義科目

4) 特別研究

本プログラムのための特別科目(「日本語・日本文化研究」, 「修了論文」)
(必修)は1年を通じて課されます。

① 授業科目と単位数(時間数) (必:必修科目, 選:選択科目)

授業科目 区分 (修了要件 単位数)	授業科目名	単位数(時間数)		必修 選択
		第1期	第2期	
(2 単位以上) 日本語	上級日本語コミュニケーション		1(30)	必
	日本語リーディング	1(30)		選
	国語学Ⅰ	2(30)		選
	国語学Ⅱ(音声言語及び文章表現を含む)		2(30)	選
	国語・国字論	2(30)		選
	日本語教育		2(30)	選
(2 単位以上) 日本文化実習・演習	(日本の生活と言語) 書写・書道		2(30)	選
	(日本の衣食住) 調理学実習		2(60)	選
	(日本の生活と自然) フィールドワーク技法Ⅰ		2(30)	必
	(日本の生活と美術) 工芸実技	2(60)		選
	(日本の生活と美術) 工芸演習		2(30)	選
	(日本の生活と音楽) 器楽演習Ⅰ	2(30)		選
	合奏演習	2(30)		選
(2 単位以上) 日本文化講義	(日本事情) 日本事情		2(30)	必
	(日本の文学) 文学と読解		2(30)	選
	(日本の文学) 児童文学論(隔年開講)		2(30)	選
	(日本の歴史と社会) 初等社会Ⅰ		2(30)	選
	(日本の歴史と社会) 暮らしのなかの憲法		2(30)	選
	(日本の自然) 植物学	2(30)		選
	(日本の自然) 地学	2(30)		選
	(日本の自然) 地史学		2(30)	選
	(日本の生活文化) 食物学Ⅰ (食品及び栄養学を含む)	2(30)		選
	(日本の生活文化) 食物学Ⅱ	2(30)		選
	(日本の生活文化) 住居学(製図を含む)	2(30)		選
(日本の生活文化) 初等家庭	2(30)		選	
(日本の生活文化) 体育・スポーツ文化論Ⅰ	2(30)		選	
特別研究 (4単位)	日本語・日本文化研究 修了論文			必 必
修了要件単位数 計		20以上		

注1. 2017年4月1日現在の授業科目であり, 変更の可能性があります。

注2. 第1期は2018年10月~2019年3月, 第2期は2019年4月~2019年9月を示します。

注3. その他の学校教育学部開設授業科目についても, 授業担当教員の許可を得て,
履修することが可能であり, 修了要件の修得単位に含むことができます。

注4. 大学院の日本文化理解教育プログラムの授業科目(講義科目のみ)を, 授業担当
教員の許可を得て, 聴講(単位修得は不可)できます。

② 見学, 地域交流等の参加型科目

1) 教育現場体験研修

近隣小・中・高等学校での授業参観及び授業参加を行い, 日本の教育現場, 教育
事情の体験研修を実施しています。

2) 日本文化体験研修

留学生が日本文化に実際に触れ, 体験できるよう日本文化体験研修を実施して
います。

3) 日本文化実習

地元加東市を中心に, 日本の生活習慣を体験するフレンドシップファミリーと
の交流行事や, 茶道, 華道体験を実施しています。



近隣の学校で教育実習体験



華道体験

(8) 主な年間行事

10月 秋学期開始, オリエンテーション
フレンドシップファミリーとの対面式

11月 加東市秋のフェスティバル

日本文化研修
近隣学校への国際交流授業に参加

12月 日本文化研修旅行

4月 地域住民とのお花見交流会

5月 留学生歓迎パーティー

7月 学習成果発表会

8月 茶華道体験

加東市夏のまつりに参加

9月 日本語・日本文化研修留学生修了式



(9) 指導体制

1) 指導教員

大学教員が指導教員となり、責任を持って留学生の関心に合致した個別指導を行います。

2) 学業面の個別指導

指導教員が一年間を通して履修指導や修了論文（レポート）指導を行います。

3) チューター制度

チューターは、留学生を一对一で支援する日本人の学生のことで、専門分野の学習や日常生活での助言を行います。また良き相談相手、よき友人として留学生活をサポートします。

4) 相談体制

国際交流会館の外国人留学生相談室で国際交流会館相談主事が留学生からの相談に応じています。

(10) コースの修了要件、修了証書の発行

1) コースの修了要件

下記の授業科目区分のとおり、20単位以上の単位を取得し、特定の課題についての修了論文（レポート）を作成のうえ、研究発表を行うこと。

また、見学、地域交流型参加科目の参加も行うこと。

日本語	日本文化実習・演習	日本文化講義	特別研究	総修得単位数
2単位以上	2単位以上	2単位以上	4単位	20単位以上

2) 修了証書の発行

第1期・第2期を通じて、上記の修了要件を満たした者に対し、修了証書（英文・和文）を発行します。

3) 修了時に求められる日本語能力のレベル

日本語により修了論文（レポート）を作成し、日本語での研究発表・質疑応答が出来る日本語能力が求められます。



■ 宿 舎

大学キャンパス内の国際交流会館にはバスルーム・バルコニー・Wi-fi・家具付の単身室が設けられています。



国際交流会館



単身室

■ 修了生へのフォローアップ

本学を修了後にはメール及びSNS等により連絡を取り、進路の確認などを随時行っています。また、本学の大学院への進学等についての相談等を行っています。

<学生の体験談>

(大学推薦 モンゴル)

日本人学生と一緒に授業を受けて、お互いの国の文化を知り合い、勉強になりました。発表の準備も一緒にやって、楽しかったです。また、フィールドワークの授業で日本人学生と一泊二日のキャンプに行きました。一緒に料理を作ったり、怖い話をしたり、テニスをしたりして楽しく過ごしました。

そして、初めて大学の部活に参加しました。

モンゴルの大学ではあまり部活はないので、

日本の大学には部活がたくさんあってびっくりしました。部活に入って、先輩と対戦して、後輩とのコミュニケーションや協力することなどたくさんを学びました。自分がうまくできなくても興味があれば先輩がちゃんと教えてくれます。部活を通して日本人の友達ができてうれしかったです。

また、色々な国際交流活動や地域行事のかけ橋となった学生支援課のスタッフの皆さんにも心から感謝しています。淡路島への研修旅行、フレンドシップファミリーの対面式や秋祭り国際交流ブースなど様々なイベントを設けてくれたり、誘ってくれたり、本当に私の留学経歴という絵本に多彩なページを描いてくれました。モンゴルに帰ったら日本で体験して学んだことなどをお土産話としてたくさんのモンゴルの学生に宣伝したいと思います。



■ 問合せ先

<担当部署>

兵庫教育大学教育研究部学生支援課国際交流チーム

住所 〒673-1494

兵庫県加東市下久米942-1

TEL +81-795-44-2043 (直通)

FAX +81-795-44-2049

E-mail office-kokusai-t@hyogo-u.ac.jp

<ウェブサイト>

兵庫教育大学：<http://www.hyogo-u.ac.jp/>

